

自分を守る！

ビジネスにつなげる！

社会貢献をする！

1. 2. 3. 4. その他事業者

20 レジリエンス教育を行っている例

事例番号 151

「ぼうさい探検隊」及び「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」

■取組主体 一般社団法人 日本損害保険協会
 ■業種 保険業

■取組の実施地域 全国
 ■取組関連 URL <http://www.sonpo.or.jp/protection/bousai/archive.html>

取組の概要

子どもたちがマップをまとめる

- 阪神・淡路大震災を教訓に、防災・安全教育の必要性が高まり、子どもたちが楽しみながらまちにある防災・防犯・交通安全に関する施設や設備などを見て回り、マップにまとめる実践的な安全教育プログラムを作成した。
- マップの作成後は、発表を通して活動を振り返り、学んだことを参加者、地域などで共有することで、子どもたちだけでなく地域の強靱化にも貢献する取組である。



【まち歩きをするぼうさい探検隊】

取組の特徴

楽しみながら、災害への備えや身近な危険について気づきを育む

- 子どもたちがまちを探検し、そこで見た災害への備えや身近な危険について自主的に考え、気づきを得ることができる安全教育プログラムである。
- 平成 16 年度から毎年「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」を実施し、作成したマップを募集している。
- 第 11 回目のマップコンクールとなった平成 26 年度は、47 都道府県の 511 の学校・団体から、過去最多となる 2,261 作品の応募があった。
- 作成したマップを「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」に応募してもらい、地域性・テーマ性、ビジュアル性、提案性、教育効果性の観点で優れた作品に対して表彰している。
- 子どもの視点で「なぜ危ないのか」「どうすれば安全になるか」まで調べ、行政への改善提言や要望を行った結果、実際に危険施設が改善された事例がある。



【第11回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」防災担当大臣賞の作品】

周囲の声

- 「ぼうさい探検隊」のプログラムを通して、子どもたちが自ら防災などに関する施設や設備を見て回り、学んだことを互いに共有し、話し合うことで、防災を自分事として主体的に考える次世代を育成することができる。コンクールの実施により、この地域単位の取組を全国に広げることができたことも大きい。(防災関係団体)

自分を守る！

ビジネスにつなげる！

社会貢献をする！

20 レジリエンス教育を行っている例 / その他事例

1.	2.	3.	4. その他事業者
生き残る力を育む「ぼうさい授業」			事例番号 152 東京海上日動火災保険株式会社
■業種：金融, 保険業			■取組の実施地域：全国
<ul style="list-style-type: none"> ● 東京海上日動火災保険株式会社では、社員等が講師として全国各地の小学校を訪問し、次の災害に備える力の育成を目指した防災教育を展開している。 ● 東日本大震災が起こった平成 23 年、「本業で培った知識や経験を子供たちのために生かしたい」「防災の知識を子供たちに伝え、次の大災害に備え、生き残る力を身につけてもらいたい」との思いから、東京海上日動リスクコンサルティング株式会社の有志社員が自発的に子供たち向けの「ぼうさい授業」を開始した。それをベースに、東京海上日動火災保険株式会社が、平成 24 年度に正式プログラムとして採用した。 ● 地震・津波のメカニズム、地震が起きた時の行動、非常持ち出し袋などについて、子供たちへわかりやすく伝える内容としている。平成 27 年 3 月末までに、延べ 475 名の社員等がボランティア講師となり、全国延べ約 161 の小学校等で延べ約 12,616 名の児童が授業を受け、自分の身を守るためにどうしたらよいかを考えるきっかけとなったなどの声が寄せられている。 			

1.	2.	3.	4. その他事業者
銀行が「BCP セミナー」を継続開催			事例番号 153 株式会社大垣共立銀行
■業種：金融, 保険業			■取組の実施地域：岐阜県
<ul style="list-style-type: none"> ● 株式会社大垣共立銀行では、年に 2 回岐阜県各地で「BCP セミナー」を実施している。これまでに 16 回開催し、延べ 890 名が参加した。セミナーの内容は BCP の策定から研修の方法、導入事例の紹介など多岐に渡っている。 ● 毎年、講演会場やテーマ・講師を変え、県内の企業に幅広く「BCP」の必要性を訴えている。また、単なる情報提供のみにとどまらず、必要な場合には専門家を紹介して BCP 策定を後押ししている。 ● セミナーの満足度は 90%を超えるなど好評であり、「BCP」の重要性の認識が県内に広がるきっかけの一つとなっている。 			

1.	2.	3.	4. その他事業者
ヤンマーミュージアムの更なる地域発展及び活性化への取組			事例番号 156 ヤンマー株式会社
■業種：製造業			■取組の実施地域：滋賀県
<ul style="list-style-type: none"> ● ヤンマー株式会社では、100 周年記念事業として、創業者生誕地である滋賀県長浜市にヤンマーミュージアムを設立した。ミュージアムの建物は、耐震性にすぐれた鉄骨トラス構造とし、自立型コージェネレーションシステム、太陽光発電、防災兼用井戸の設置、防災用発電機など、同社が開発したエネルギー商品を採用することにより、災害に強く、環境に優しい施設としている。また、大規模自然災害の備えとして、インフラ（電気・ガス・水道）途絶時にも、最低限運営（セキュリティ装置・照明・自動ドア・給排水等）できるようにシステム設計をしており、地域住民の避難所として地区自治会から指定されている。 ● 同社では、これらの防災面・環境面での取組をミュージアム展示に取り入れており、社会への啓蒙活動の一つとして位置づけている。また、地域の小中学校の社会見学や、エネルギー専門分野の方々の施設見学会の場ともなっている。 			

1. 2. 3. 4. **その他事業者**

農家の安全・安心に向けた取組も学ぶ「田んぼの学校」

因幡堰土地改良区

事例番号 160

■業種：農業, 林業

■取組の実施地域：山形県

- 山形県鶴岡市の因幡堰土地改良区では、地域住民とのワークショップや農業用水の水源探訪、農業用施設を活用したカヌー体験や生きもの調査、水源涵養林の植樹や下刈り枝打ちなどを行う「田んぼの学校」活動を行っている。
- 農業用水路の水門操作による、床上浸水や湛水被害の防止等についても地域住民とともに学び、農業が果たしている役割と農家が安全安心を届けるために行っている苦勞への理解を醸成するよう活動を行っている。